

令和 7 年度印西市地域包括支援センター事業実施報告

圏域の人口等(人)

圏域人	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
圏域内人口	21,434	37,616	24,978	11,866	16,382	112,276
65 歳以上 高齢者数	7,151	10,481	3,992	3,713	2,821	28,158
前期 高齢者数	3,302	5,667	2,223	1,597	1,415	14,204
後期 高齢者数	3,849	4,814	1,769	2,116	1,406	13,954
高齢化率	33.4%	27.9%	16.0%	31.3%	17.2%	25.1%

(令和8年3月31日現在)

※以下、令和 7 年度(R7.4.1～R8.3.31)の実績

(1)包括的支援事業

① 指定介護予防支援(件)

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
ケアプラン件数						
第1号介護予防	47	88	52	17	0	204
第1号介護予防 支援分	708	785	491	278	195	2,457
うち委託件数	479	552	306	241	152	1,730
ケアプラン件数 介護予防給付	107	209	90	31	65	502
介護予防給付分	1,567	1,581	685	994	648	5,475
うち委託件数	916	1,104	552	695	339	3,606

② 総合相談支援業務(件)

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
相談件数	1,309	2,062	885	1,188	689	6,133
来所	358	748	162	437	137	1,842
電話	626	1,004	557	618	392	3,197
訪問	299	195	143	125	125	887
文書・メール	4	35	7	1	4	51
その他	22	80	16	7	31	156

相談内容	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
介護保険	1,031	1,098	500	814	427	3,870
疾病	380	618	291	268	128	1,685
うち認知症	138	170	142	32	23	505
経済・生活に関すること	96	68	47	56	43	310
家族に関すること	93	201	124	128	40	586
高齢者福祉サービス	43	178	21	40	37	319
安否確認	69	45	26	42	17	199
苦情	26	24	17	12	0	79
うち包括に関すること	7	2	3	0	0	12
実態把握	19	36	20	7	3	85

③ 介護予防把握事業(件)

		印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
実態把握	訪問	7	0	5	17	6	35
	電話	5	0	0	2	0	7

④ 権利擁護業務(件)

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
虐待継続対応	16	6	0	4	0	26
虐待新規対応	4	1	0	4	0	9
虐待新規相談	1	7	6	5	0	19
成年後見相談	14	6	2	5	0	27
消費者被害相談	8	1	1	1	0	11

⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(件)

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
ケアマネからの相談支援	95	98	49	85	15	342
指導・助言	52	60	38	47	15	212
同行訪問	26	12	12	10	0	60
研修会・事例検討会の開催(回)	0	1	0	1	0	2

⑥ 在宅医療・介護連携、認知症対策推進事業

ア 在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議の開催

■第1回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議(R7/6/27) 委員14人出席

議題(1)会長・副会長の選出について

(2)令和7年度印西市在宅医療・介護連携、認知症推進事業計画について

■第2回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議(R7/11/7) 委員11人出席

議題(1)認知症施策推進計画の検討について

■第3回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議(R8/3/6) 委員12人出席

議題(1)令和7年度印西市在宅医療・介護連携、認知症推進事業報告及び令和8年度印西市在宅医療・介護連携、認知症推進事業計画について

イ 多職種連携研修会

■第1回(R7.10.3) 参加者 59 人

内容:医療と介護の現場における暴力・ハラスメント
講義・グループワーク

講師:法テラス千葉法律事務所

弁護士・社会福祉士 橋ヶ谷 祐可 氏

弁護士・社会福祉士 金澤 万里子 氏

弁護士・森田 寛 氏



■第2回(R8.2.20) 参加者 31 人

内容:「こころと体のメンテナンスに植物の香りを活かす」
疲労を緩和し、余白を生み出すアロマセラピー術

講師:英国 IFA 認定アロマセラピスト 和田 文緒 氏



ウ 市民講演会(在宅医療・介護連携推進事業市民講演会) 参加者:63 人

令和7年10月20日(日)開催 会場:文化ホール2階多目的室

内容:未来を見据えるための備え～成年後見・終活・相続の基礎知識～

講師:成年後見普及協会 理事 金原 和也 氏

エ 介護と医療サポートガイドの発行

関係機関への配布、研修などでの活用、講演会などで市民に周知、配布した。また、ホームページに掲載し、必要な方にサポートガイドをダウンロードしていただけるようにした。

関係機関にアンケートを実施し、地域包括支援センターや訪問看護事業所等と掲載内容や情報の見直しを行った。令和8年3月に1,200部発行して関係機関へ配布予定(隔年発行)。

オ 各事業所の連絡会等

■特別養護老人ホーム連絡会 4回

連絡会の運営や介護人材就業促進事業等について検討。

介護のお仕事紹介イベントを開催

■訪問看護ステーション会議 訪問看護事業所主催により10回出席。

⑦ 生活支援体制整備事業

【第1層(市全域)】

印西市社会福祉協議会へ委託し、生活支援コーディネーター(SC)1人を配置

■市民フォーラム

令和7年9月20日(土) 参加者29人

①講演 千葉大学予防医学センター 健康まちづくり共同研究部門 特任助教 井手 一茂 氏
「暮らしているだけで健康になるまち 印西市をつくろう！」

②生活支援コーディネーターによる活動報告

北部圏域(小林 SC):砂田サロンゆい

本埜圏域(伊東 SC):通いの場 しあわせ農園

■生活支援サポーター養成講座 受講者17人 修了者14人

令和7年11月7日(金)、14日(金)、21日(金)(3日間コース)

1日目講師:○印西市福祉部高齢者福祉課 荻田

これからの超高齢化社会～自分ならどうする?！～

○生活支援コーディネーター

地域での支え合いを考える「助け合い体験ゲーム」

2日目講師:○社会福祉法人秋桜会 管理者 筒井 慈子 氏

対象者理解①「高齢者・認知症の理解」

○印西総合病院 リハビリ 田染 佐夏 氏

対象者理解②「高齢者を知る～フレイルや栄養面について～」

3日目講師:○千葉県介護福祉士会 濱田 竜也氏

高齢者の生活支援「基本的な心構え、身近な地域で出来ること」

○生活支援コーディネーター

高齢者への生活支援活動の紹介

ゆうゆうサービス・ワンコインサービス・外出支援・介護支援ボランティア制度

■生活支援サポーターフォローアップ研修

令和8年2月27日(金) 受講者8人 ボランティア6人

「地域で出来るボランティア活動、現役ボランティアさんに聞いてみよう！」

・対象:令和元年度から令和7年度までの「生活支援サポーター養成講座」修了生

・内容:〈前半〉

○研修の目的・ねらいについて説明。

○参加ボランティアと当課職員より、ワンコインサービスやいんざい健康ちょきん運動等内容説明。

〈後半〉

参加者・ボランティア・SC・当課職員でグループワークを行い、簡単な自己紹介、住んでいる地域、ボランティアの質問など各グループで意見交換を実施。途中で一度、ボランティアにグループを移動してもらい、不安の解消や興味を持ってもらうことで、ボランティアに繋がった者もいる。

【第2層(日常生活圏域)】

各地域包括支援センター受託の法人へ委託し、生活支援コーディネーターを各センターに1人ずつ配置(計5人)

■協議体 5か所

さあ歩こう！いんざい歩き隊 / 武西カフェ / 小林移動サロンくすの木 / 鳴沢サロン / 滝野小4年生と滝野シニア会員との交流体験

■その他活動

- ・男声歌声サロン「にじいろ」を北部圏域と南部圏域合同で開催し、地域の方の通いの場として活動を行った。
- ・住民座談会などにおいて、生活支援コーディネーターの活動報告、意見交換などを実施。

【第1層・第2層協働】

■地域資源の見える化

- ・「印西市社会資源マップ～高齢者にやさしいお店・サービス等の情報誌～」を更新(令和7年12月時点の情報)。

■生活支援コーディネーター通信(広報誌)の作成

- ・体制整備事業および生活支援コーディネーターの役割の周知のため広報誌を作成。

■SC 移動サロンの開催(1回)

- ・5圏域の生活支援コーディネーター協働で本埜圏域においてサロンを開き、各圏域の地位住民への生活支援コーディネーター周知やつながり作り、サロンでの話し合いや意見交換によるニーズ把握・課題の発見に努めた。また、生活支援コーディネーターの資質向上やサロンの運営などを学び、自圏域に活かした。

【その他】

■OJT

令和7年10月10日(金) 受講者35人(市職員26人、外部9人)

(一財)医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 政策推進部 副部長 中村 一郎 氏
「高齢者福祉の目指す「地域づくり」(生活支援体制整備事業)について」

生活支援体制整備事業が目指すもの、地域支援事業実施要項の一部改正と生活支援体制整備事業の成果イメージ、当事業による選択肢の拡大と地域資源の種類、地域との連携と担い手づくり(事例紹介も含む)について講義を行い、SCの役割も含め、地域包括ケアシステムが構築された地域づくりへの理解を図った。

■介護支援専門員研修

令和7年8月21日(木) 受講者32人

印西市福祉部高齢者福祉課 包括支援係 荻原

生活支援体制整備事業における印西市の生活支援コーディネーター(SC)の役割と活動～自立支援の考え方とケアプランへの活用について～

介護保険制度の背景や仕組み、印西市の人口推移や介護保険の状況、自立支援の考え方、生活支援体制整備事業とSCについて等講義を行い、SCやその活動紹介、SCとのグループワーク、SCが作成している社会資源マップに対する意見交換を実施した。

⑧ 認知症施策の推進事業

ア 認知症カフェの開催

各地域包括支援センターにて会場・内容を検討し実施した。

■延べ開催数 35回 参加延べ人数864人

印西北部地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和7年 6 月 14 日(土)	13 時 30 分 ～ 15 時 30 分	文化ホール	52 人
9 月 13 日(土)		小林公民館	37 人
10 月 11 日(土)		文化ホール	19 人
11 月 8 日(土)		中央公民館	23 人
12 月 13 日(土)		文化ホール	30 人
令和 8 年 2 月 14 日(土)		小林公民館	28 人
開催回数 6 回			189 人

印西南部地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和 7 年 4 月 22 日(火)	13 時 30 分 ～ 15 時 30 分	特別養護老人ホームアマポーラ	24 人
5 月 22 日(木)		東京基督教大学	21 人
7 月 22 日(火)		フレンドリープラザ	21 人
9 月 22 日(月)		サザンプラザ	17 人
10 月 22 日(火)		コスモスパレット	20 人
12 月 22 日(月)		フレンドリープラザ	28 人
令和 8 年 2 月 22 日(日)		デイサービスアインキューゲル	15 人
3 月 22 日(日)		コスモスパレット	23 人
開催回数 8回			169 人

船穂地域包括支援センター ○13時30分～15時30分 ●10時00分～12時00分

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和 7 年 5 月 24 日(土)	○	ふれあい文化館	32 人
6 月 21 日(土)	●	船穂コミュニティセンター	25 人
7 月 25 日(金)	●	原集会所	13 人
10 月 4 日(土)	○	トミオコスモステラス	21 人
11 月 15 日(土)	●	船穂コミュニティセンター	25 人
12 月 6 日(土)	○	ふれあい文化館	27 人
令和 8 年 2 月 14 日(土)	○	ふれあい文化館	38 人
開催回数 7回			181 人

印旛地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和 7 年 5 月 22 日(木)	10時～13時30分	印旛公民館	13 人
6 月 30 日(月)	10時～12時	印旛包括地域包括支援センター	28 人
7 月 8 日(火)	10時～13時30分	印旛公民館	16 人
8 月 28 日(木)	10時～12時	平賀学園台自治会館	25 人
9 月 25 日(木)	10時～12時	吉高台構造回線センター	15 人
10 月 29 日(水)	10時～12時	ウェルガーデン自治会集会所	19 人
11 月 5 日(水)	10時～12時	岩戸区構造改善センター	18 人
令和8年3月 3日(火)	10時～12時	ウェルガーデン自治会集会所	18 人
開催回数 8回			152 人

本埜地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和7年4月 26 日(土)	13時30分 ～ 15 時30分	本埜公民館	38 人
6 月 28 日(土)		滝野小学校体育館	39 人
8 月 2日(土)		牧の原地域交流センター	19 人
9 月 15 日(月)		安食ト杭集会所	27 人
11 月 1日(土)		滝野小学校体育館	29 人
令和8年 2 月14 日(土)		本埜公民館	21 人
開催回数 6 回			173 人

イ 認知症予防出前講座「知って安心!!認知症予防!～学べばこわくない認知症～」

令和7年6月19日(木)いきいきクラブ	参加者18人
令和7年7月1日(火)印西市民アカデミー	参加者12人
令和7年10月23日(木)小倉台3丁目	参加者26人
令和7年11月9日(日)木刈4丁目	参加者21人
令和8年1月15日(木)印西市民アカデミー	参加者14人
令和8年1月21日(水)トナ会	参加者17人

ウ 認知症地域支援推進員・認知症キャラバン・メイトの養成

認知症地域支援推進員	5人
認知症キャラバン・メイト	6人

エ 認知症ケアパス

認知症地域支援推進員および千葉県認知症コーディネーター等との意見交換会にて掲載内容・情報の見直しを行い、居宅介護支援事業所・医療機関・公民館等へ配布。

オ 人材育成に関する意見交換会

市内の認知症地域支援推進員及び千葉県認知症コーディネーターと、認知症施策の推進について、チームA(周知)、チームB(育成)、チームC(連携)に分かれて話し合いを行った。

	チームA	チームB	チームC	合計
意見交換会開催数	2回	2回	6回	10回

【主な活動】	チームA	認知症メモリーウォーク、認知症ケアパスの内容検討
	チームB	小学校用認知症サポーター養成講座教材動画作成
	チームC	認知症の方と家族の集い「笑顔のひろば」の開催

カ 認知症初期集中支援事業

印西市認知症初期集中支援チームを日本医科大学千葉北総病院に設置。
初期集中支援チームによる支援の実績は令和8年3月末で7件(昨年度からの継続ケース1件、新規ケース6件)。

キ 認知症早期発見事業

日本医科大学千葉北総病院主催イベント(世界アルツハイマーデー)を、日本医科大学千葉北総病院で開催した際に、認知症簡易検査(物忘れチェック)を実施した。また、包括が実施する認知症カフェや地域のサロンで物忘れプログラムを活用し、令和7年度の利用者は合計39人。

介護予防事業のひとつとして作成した、印西オリジナルの「はじめよう!脳活問題集 第3弾」を、配布した。

ク 認知症メモリーウォーク in いんざい

認知症に対する理解と支援を広げるための取り組みとして、認知症メモリーウォークを開催した。認知症の当事者や家族及び支援者等が、認知症支援のシンボルカラー(オレンジ色)の物を身に着けて市内を行進し、認知症に対する啓発活動を行った。

開催日:令和7年10月25日(土)

会 場:千葉ニュータウンイオンコスモス広場～

千葉ニュータウン中央駅

参加者:32人

後 援:認知症疾患医療センター

(日本医科大学千葉北総病院)



⑨ 地域ケア会議

	北部	南部	船穂	印旛	本埜	全体
地域思いやりケア会議	3回	1回	4回	0回	0回	8回
地域ケア推進会議	1回	2回	2回	1回	1回	7回

■自立支援型地域ケア会議

	月 日	参加人数
自立支援型地域ケア会議	5月21日	12人
	7月18日	13人
	9月19日	13人
	11月18日	13人
	令和8年1月23日	13人
	令和8年3月17日	12人
計	6回	76人

高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援や地域資源の発見と開発、自立支援の考え方の共有を目指し、多職種協働で検討を行った。

また、介護支援専門員の自立支援に即した考え方の定着や、生活支援コーディネーターの資質向上のため、居宅介護支援事業所等に自立支援型地域ケア会議に積極的に参加していただけるよう、段階的に体制を整えている。

■市地域ケア会議

令和8年3月19日(木)開催

出席者:19人(高齢者福祉関係者、買い物事業所・介護サービス事業者等)

民生委員・デイサービス・ケアマネジャー・シルバー人材センター・社会福祉協議会

ジョイフル本田千葉ニュータウン店・生活協同組合コープみらい

地域包括支援センター

議 題:高齢者の買い物支援について

討議内容の概要:

- ・ジョイフル本田では無料送迎バスや購入した物の配送(有料)を実施。
- ・生協は電話での注文受付、大きくて見やすい注文票の用意、見守り機能もある。
- ・店舗では様々な支援を行っているが、周知に課題があると考えている。
- ・利用時間内に買い物に行けるデイサービス(プレーグ)もある

- ・シルバー人材センターでも家事支援は実施している。利用希望者は増えており、サービス提供会員を増やすことが課題。
- ・マンション内での助け合いを行う活動が立ち上がっているところもある。
- ・市は、買い物支援の情報を整理し、市のホームページなどでわかりやすく発信する。

⑩ 任意事業

ア 家族介護者教室

日 時:令和8年2月28日(土)午後10時00分～12時00分

会 場:印西市文化ホール2階多目的室

テーマ:「学んで防ごう!介護事故」

内 容:講話及び実演

講 師:印西市福祉部高齢者福祉課包括支援係 高橋 悠斗氏

印西総合病院 理学療法士 鬼澤 明里氏

印西総合病院 理学療法士 津嶋 紗衣氏

印西総合病院 言語聴覚士 相良 なつみ氏

参加者:男性7人 女性26人 計33人



イ 認知症サポーター養成講座

■一般(成人)向けサポーター養成講座 10回 413人

対 象	受講人数
町内会・自治会等	87人
企業	21人
行政職員	41人
学生(大・中)	258人
その他	6人

■小学校向け認知症サポーター養成講座 14校 978人

学校側のご協力により18校中14校で実施。対象は4年生から6年生。

講師は担当圏域の地域包括支援センターに在籍する認知症キャラバン・メイトが務め、45分のプログラムで実施した。

ウ 成年後見制度利用支援事業

成年後見市長申立て件数

令和7年4月1日～令和8年3月末	市長申立て件数	2件
	市長申立て相談件数	2件
	後見人等報酬助成	6件

○関係者支援方針会議の出席 2回

○受任調整会議の出席 2回

⑪ 介護予防・日常生活支援総合事業

ア 介護予防・生活支援サービス

- 通所型サービスC(短期集中予防)利用者数 8人
- 訪問型サービスD(外出支援)利用者数 6人



イ 一般介護予防事業

■介護予防把握事業(健やかチェック)

基本チェックリストを主としたアンケートを、介護認定を受けていない 75 歳以上の対象者に送付

送付者数 11,114人 回答者数 6,359人(回答率 57.2%)

■介護予防普及啓発事業

- はじめよう！脳活問題集配布数 約 3,500 冊
- フレイル予防パンフレット配布数 約 4,200 冊
- 介護予防教室「のばせ！健康寿命」 10回(実人数 73人 延べ人数 76人)

■介護予防普及啓発講演会(隔年実施)

開催日:令和7年12月日(土)開催 参加 56名

講演:「人生100年時代を自分らしく生きる」～からだの変化と向き合う介護予防のヒント～

講師:地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所

研究部長 平田 匠 氏(医師)

超高齢社会において、長く人生を楽しむために知っておきたいフレイル予防の方法として、栄養・口腔・運動・社会参加や生活習慣病予防・管理、薬との付き合い方等について講演会を実施。「日頃より感謝の念を忘れずに、ちょっとしたことをポジティブにとらえる、現実的な変化を認めて受け止めた上で自分なりの生き方を探る」ことの積み重ねが幸福感や老年的超越につながると、フレイル予防や介護予防、健康づくりの考え方を普及啓発することができた。

講演のほか、市の介護予防関連事業の紹介も行った。

■地域介護予防活動支援事業

いんざい健康ちょきん運動の後方支援

新規グループ立ち上げ支援・活動継続に関する相談支援・

グループ数の推移

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
72グループ	75グループ	83グループ	86グループ	86グループ

⑫ 地域包括支援センター職員研修会

市内5か所の地域包括支援センター職員、高齢者福祉課包括支援係職員を対象に、計3回の職員研修を実施。

- 第1回地域包括支援センター職員研修(R7/5/30) 参加者 27 人
内容(1)通所型サービス C について(高齢者福祉課 理学療法士 本多隆人)
(2)事例検討(事例提供 印西南部地域包括支援センター)
- 第2回地域包括支援センター職員研修(R7/8/26) 参加者 27 人
内容:「実践の質を高める 記録の書き方」
講師:千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 佐藤紀子氏
- 第3回地域包括支援センター職員研修(R7/12/12) 参加者 25 人
内容:擁護者における高齢者虐待対応
講師:かわさき社会福祉士事務所 社会福祉士 川崎 裕彰 氏